

心を育む学校給食週間

「12月6日～15日」

食べ物教室



これでいいかな？



むずかしいな。



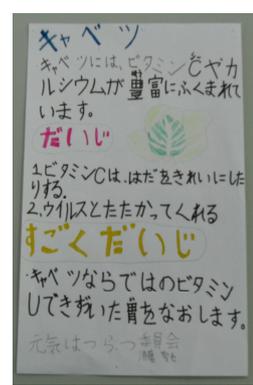
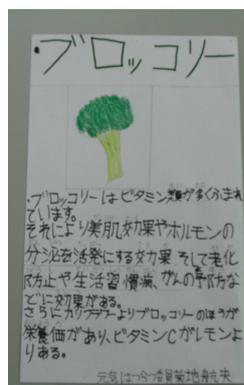
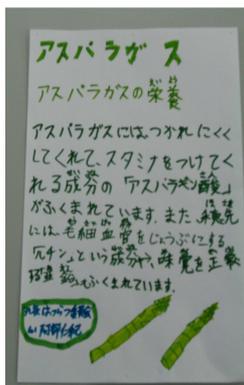
どのなかまかな？

給食の歴史や食べ物の持つ栄養にふれながら、食への関心と理解を深めようと、今年度の「心を育む学校給食週間」を実施しました。

- ① 12月6日～12月10日の週は「よくかんで食べよう」をねらいとした献立でごぼう、ブロッコリー、いか、アーモンド小魚、たけのこ、れんこんなどよくかんでほしい食材を取り入れた給食を実施しました。
- ② 7日に縦割り班のなかよし給食では、学年を超えたつながりを深めました。
- ③ 8日の全校朝会では、校長先生から日本の給食の始まりが山形県鶴岡市であること、脱脂粉乳や先割れスプーンの給食の思い出、調理師さんへの感謝の気持ちのことなどを話していただきました。
- ④ 調理師さんへ作文を贈り、感謝の気持ちを伝えました。
- ⑤ 食べ物教室で栄養と病気、食べ物の働きの勉強をしました。
- ⑥ 元気はつらつ委員会の昼の放送で野菜の栄養について学びました。

【放送内容】

体を元気にしてくれる「野菜」を食べましょう。



食についての話や活動によって、子ども達は食への関心を深めることができましたと思います。食が豊かになった現在ですが、野菜嫌いや正しく箸をもてない子がいます。お家の方が食の大切さや郷土料理、食事のマナーなどについて、一緒に食べながら話をしていただけると、食べ物への感謝や郷土料理のよい点などが伝わるのではないのでしょうか。健康で生活するには、食が大切です。子どもに「おいしいね。」と一言かけられる家庭にしてほしいと思います。

